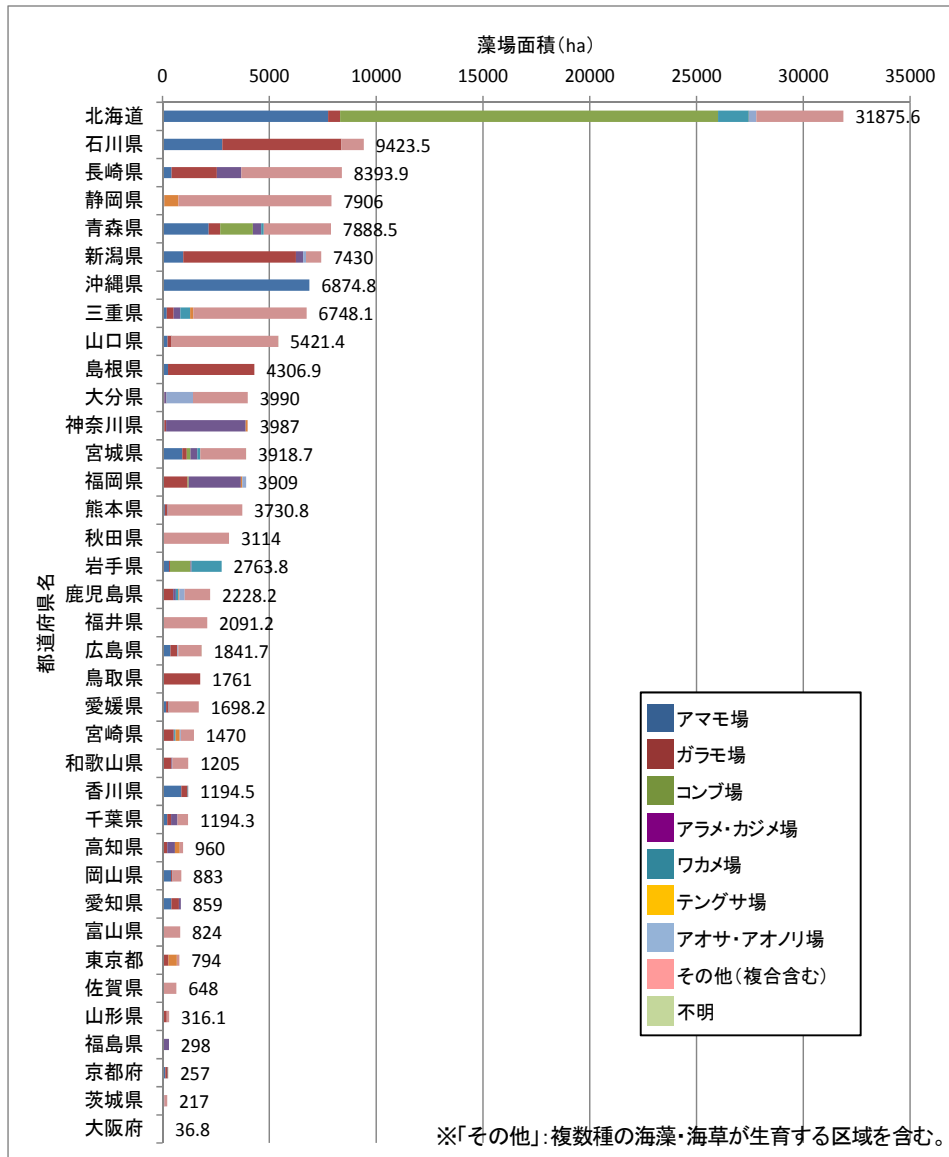


● 藻場の分布面積と構成比（震災前）

藻場は、海藻類もしくは海草類が繁茂する場所です。生命活動の場であり、窒素やリンを吸収する水質浄化機能を持つなど、海域環境保全に重要な役割を持ちます。

環境省が全国 37 都道府県で実施した「第 5 回自然環境基礎調査（海辺調査）」（平成 10 年 3 月）によると、藻場の分布面積の大きさは全国 1 位北海道、2 位石川県、3 位長崎県、4 位静岡県、5 位青森県の順番となっています。東北地方は、宮城県 13 位、秋田県 16 位、岩手県 17 位、山形県 33 位、福島県 34 位となっています。

藻場の構成比は、全国的に見て複数種の海藻・海草が生育する区域が多いことがわかります。東北は、青森県と岩手県でコンブ場が、宮城県でアマモ場が多いことがわかります。



全国の藻場の分布面積

(※第 5 回自然環境基礎調査結果を元にグラフを作成)

生物多様性センターHP <http://www.biodic.go.jp/>

(第 5 回自然環境基礎調査より)